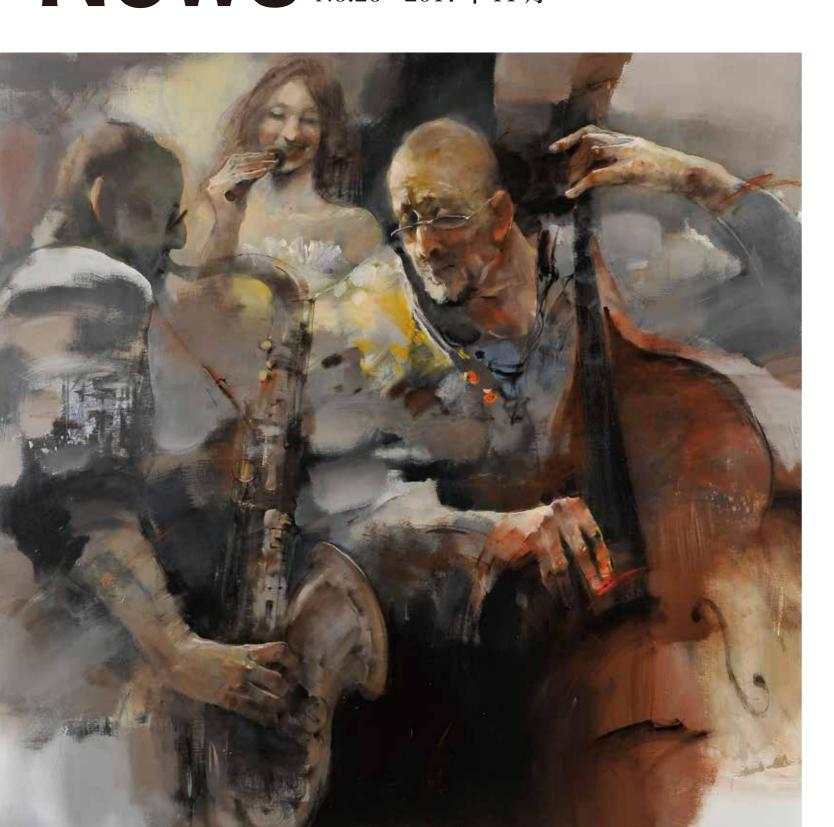
Kurilon Workshop No.26 2017年11月







蔡 國華「洋画展」 阪急梅田本店 7F 美術画廊

$_{2017/12}/6$ 日(水) \sim 12日(火)

日~木曜日 10:00~20:00 金·土曜日 10:00~21:00 最終日 10:00~18:00



阪急梅田本店7F美術画廊にて12月6日(水)から12月12日(火)に蔡 國華「洋画展」が開催されます。近くにお越しにの際は是非お立ち寄りください。

(デザイン:画空間 豊島 愛)







軽井沢に秋の訪れが感じられ

第13回

フォーラム(HFF2017)でヒューマン・フロンティア・る9月中旬、爽やかな天気の下

FF常連メンバーからの話題提と個人の葛藤」をテーマに、H 供となりました。 プログラムです。今年は「組織 は3件の話題提供と論議という を兼ねた活動報告、 顔ぶれです。 〇主宰者、芸術家などの多彩な大学関係者から企業人、NP 芸術家などの多彩な 日目は自己紹介 続く2日間

最後に、「会社の意向に沿ってではなく、社会の意向に沿ってではなく、社会の意向に沿って内で価値創造の企画や指導をしているS氏から、日本の大企業で働く人々の能力発揮が抑制されている状況や、そこからの脱却に向けて、膨大なデータに基却に向けて、膨大なデータに基が、

づく問題提起がなされました。

その場での論議をもとより、

朝

三日間でした。

代表取締役

清

から一転、最初は、 める〇氏から、「共同体、世間、の公益財団法人の専務理事を務 イエ、国家」など「個人と組織 しを経て、 、現在はスポーツ関連、八ヶ岳での仙人暮ら、

を巡る基本的な概念と、 組織内 HFFも13年目を迎えると、年「継続は力なり」と言いますが、し合いが繰り広げられました。 みを率直に話し合える環境が形での取り組みで達成しようと悩 も、深いレベルでの結びつきがに一度だけ再会する人達の間に 夕の食事やHFF恒例の『夜の 強まってきました。 ミーティング』などで、活発な話

各々の分野



空間 North Stary and 北イタリア・スイス紀行

蔡 國華 作品展

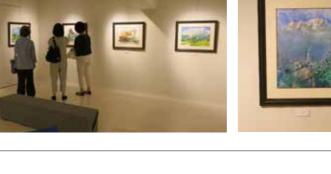
に手に取って下さる方も多く見られました。会場には涼しげな緑や青、そして石造りの町並みのオレッジ色が目に爽やかな水彩作品の数々が並びました。スイス山奥の村・ソーリオ。頂に白い雪の残の村・ソーリオ。頂に白い雪の残っがかびました。 発売を記念した展覧会です。毎イタリア・スイス紀行」作品集のを描いた作品を展示。同時に「北れたスイス・イタリア国境の風景 ジュリオ。中世の姿を残した街の小さな湖畔の街・オルタ・サン・空気が感じられます。北イタリア みずしい緑の木々から澄み渡った家々、そして青く広がる空とみず ズも今回で4作目となり、楽しみ年好評の水彩風景作品集シリー

画空間ギャラ にて、20

小川 あき







旧態依然とした大学の実態とそから、新たな大学像に向けて、

新たな大学像に向けてして間もないM氏とk

像に向けて、M氏とK氏

大学の学部長や学長

の克服に向けた苦闘が

に就任

話されまり

で組織を変える行動の実践例が

2017

価値があることを感じさせられたく。そこにHFFという「場」のく。そこにHFFという「場」のく。そこにHFFという「場」のフロンティアに立つ人達が互い 経営実践セミナ

万の壁補助制度」や、90年代してもらおうとする「130 と能力を高めて貢献度を増や 改善するための当社の取組み 児によってキャリアが途絶え字カーブは、結婚、出産、育 率のグラフを用いて日本のM いると説明しました。それを しまうことを顕著に表して 社員の方にもっ

調講演の依頼を受け、60名の今回のテーマは「女性の活躍作進」であり、栗原社長が基年2回、実施されています。 野にて行われました。同セミ日 (水) ホテルリガーレ春日 企業の経営者、幹部層向けに 経営課題の解決に資するべくナーは、活力ある企業経営と 奈良経済産業協会主催の

の動きの反映であり、労働力女性の社会進出は、世の中 方が参加されました。 の懇親会も盛況に終わりました。

られる働き方改革、同一価値労働を先まれていて面白いですね。」「今後求め 引き出すか、社員の知恵と工夫が最も 取りされた取組みですね。」などお声 中、発想の工夫で色々なことに取り組 参加者からは「厳しいビジネス環境の 大事であると述べ締め括りました。 営と人材経営であり、人の力をいかに 考え方としては、 当社の人材マ 事業の柱は

業所と関西緑地サ 一社による事例発表も行われ、 当社の講演後は、株式会社品川工 ビス株式会社 その後

真美子

^{第51回} 剤まつり

に大きく、「満ち潮隊」の認知と沿道のお客様の声援が非常

も例年以上に気合いを入れて加のメンバーも多い中、練習最多となる総勢74名で、初参 本番当日、いざ踊り始める取り組みました。

さて、気になる表彰結果ですが…今年はなんと、94 ですが…今年はなんと、94 「ですが…今年はなんと、94 ですが…今年はなんと、94 ですが…今年はなんと、94 ですが…今年はなんと、94 続けて参ります。 指し、来年に向け更に進化し嬉しく思います。二連覇を目



も大都会を離れ、豊かな自然に明るさで描かれています。どちら 囲まれたのどかな風景が心を和 に並ぶカフェや教会、湖が静謐な

人がと 一 和空間~夏時雨~

2人展 書家・坂田 紅陽切り絵作家・タンタン

存在感を放つ油彩の大作は会場水彩作品が並ぶ中、ひときわ しか見られないもので、石壁

場へと訪れました。うだるような中たくさんの方が作品を見に会更の終わり、まだ暑さの残るあるように感じられました。 残暑が続きましたが、爽やか れるような展覧会となりました。 品がふと暑さを忘れさせて

画空間

今年5月にスケッチツア

「『北イタリア・スイス紀行』7年8月28日から9月2日まで

こんでいる様子が鮮やかにそこに街角に初夏の陽光が明るく差し

うことを後に知り、偶然の一致にとても空間」という憩いのスペースがあるとい 間~夏時雨~でしたが、本社本館に「和いただきました。サブタイトルは、和空 画空間にて、切り絵作家のタンタン氏と2017年7月31日から8月5日まで、 共に「切り絵と書」 2人展を開催させて

し、癒しの空間を演出。また大筆で書開、素敵な切り絵作品と書作品が融合イトで雨を降らせ、夏時雨の世界を展音で雨音を再現し、天井から水玉のラ て下さっていました。 前で多くの方々が写真撮影し、見入っ 初日オ 『で雨音を再現し、天井から水玉のラ会場はシロフォンの音色と水琴窟の た「雫」という文字の巨大切り絵の -プニングパーティでは、瓜生恭

「切り絵と書」2人展によせて

の歌声が会場を華やかに彩りました。 さんのピアノ演奏と歌手 古住和人さん

> ンに取り組んでおります。この夏、画空間まりとなり、切り絵と書のコラボレーショ にて雨に対する日本人独特の美意識に焦

書家・坂田紅陽先生との出会いがはじ

マにふさわしく期間中は雨が多 の方々にご来場頂きまし

(書家·坂田 !У空間 坂田

面白い、とのご評価を受け、堺高島屋(11 会がきっかけとなり、企画・組み合わせが点を当てた、切り絵と書の「和空間」展覧

